



人も馬も濡れぬ 戰場宛らの競技

風雨の中に勇士の勞苦を偲ぶ 今日の軍用保護馬鍛錬

石城産馬組合主催軍用保護馬一般鍛錬競技は既報の如く滿洲軍第九回記念日に當る今日十八日平市立工業校敷地に於て催された。競技は午前八時出場四十六頭の優秀馬はか整列と同時に草野産馬副組合長の開辭、國旗掲揚、宮城遙拜、默禱終つて安島組組長の式辭、本部から派遣の審査長富田富藏中佐から競技實施の指示並に挨拶ありて開始した。当日は夜來の雨すく強

創立十周年を迎へ 勤続教員の表彰式

平第三小學校保護者會で

平第三小學校保護者會では創立十周年を記念して、勤続教員の表彰式を計畫し、昨日(十八日)午後二時、本校講堂に於て、保護者會の代表者、校長、教員、保護者等約二百名が出席し、式を挙ぐる筈で、明後(二十日)午後、後援會並びに評議員會を開き、備右の期日その他を協議することになつた。

衛生區長講習會

平保健所では来る二十六日高久村を皮切りに管下各町村で衛生區長、同世話係を集めて傳染病預防その他衛生上につき指導講習會を開かれるが、尚ほ管内共同井戸につき水質試験その他を行つてゐる。

度量衡計量器商 聯合大會

今日から廿日まで東北北海道樺太度量衡計量器商聯合大會は今十八日から二十日まで福島市公會堂に於て開催、二十日は磐山神社に武

支那軍語
吳淞口外に軍艦三隻ありと云ふは吳淞口外有軍艦三隻でウイーンコウワイユウイユンチエンサンソウと唱ひ鐵道を破壊すと云ふはハイアイユールと云ふ

運長久祈願をなし初秋に於ける同地の勝を見て解散の筈であるが平市及び石城郡部から左記出席の由

▲平市八島技手、山野邊東次郎(兼)諸橋安彦(兼)木村重五郎(湯本)

記念式典

奉祝祭に参列
平市長と植田町長、縣主小野寺大佐の軍事講演會は今十八日午後一時から平市公會堂に於て開催された

秋刀魚漁を目指す 漁船出航五十四隻

一番乗の水揚げ廿五日頃か

石城各漁は来る廿五日の秋魚漁の解禁に根據地を目指し、出航中であるが先發船から好情報を受けて益々活況を添へ同漁場北海道駒津沖に向つたもの江名濱からの四十四隻を筆頭とし小名濱の八隻次で四倉及び奥羽の各三隻計五十四隻が出航した。

時局と勞務動員

厚生省 (14)

二、國家總動員の發動
しかし、戦時下における勞務の問題は事變の長期化に伴ひ、一、重要性を加へることとなり、遂に國家總動員法に基いて、次々に勞務規制關係命令の公布を見るに至り、勞務動員態勢の強化が行はれることになつた。云ふまでもなく、國家總動員法は、先に

四倉警防團でサ
四倉町警防團では皇紀記念事業として、

無遠慮に望んだ 慰問袋感謝します

平警察署出身
相樂 薫

然し皇軍の占領地域には早くも治安維持會の如きものが建設され日増しに親日思想に向きつゝあるので將來必ず親善の目的とする東亞永遠の平和が實現することを確信いたされ、同封の寫眞(一)は〇〇にある我が領事館及び國旗に掲げた抗日電報の文字(二)は〇〇河を渡河する我が友軍の風景(三)は愚路を同じ輸送の任を完ふする輜重兵(四)のなかに手拭を顔にかけインビを持ち立つてゐるのが小生(五)は我れ等輜重兵の小休止の場面であり、先遣は無遠慮な慰問袋を望みまして申謝ございませぬ其れにも拘らず直ぐ御送り下さいましたとのこと衷心御禮申上ます、その中階く

勤王史上より觀たる 菊多莊の郷土的價值

文明 郷土

是れに於て、奥羽兩國の大仙道白河城主結城上野介宗茂と其の嫡子同三河前司親朝であつた。ゆるに朝廷も亦彼等の父子に依倚し給ふこと甚だ大で、當時白河結城の忠節は一に奥羽の稱許とさへ、上下の注目を蒙るを受けられた。

坑夫の同僚荒し

石城郡赤井村の赤井不動堂日曹坑夫鈴木好定(二)は本年七月月中旬の渡邊進平から洗濯屋へ頼まれた三つ組洋服價八十圓を廿圓で買却遊興に費消した結果、同僚同僚に調べられた結果、同僚同僚から靴靴計一個價十五圓を騙取せる泥を吐いた

養蠶技術員會

縣蠶取締支所では来る二十三日管下養蠶技術員會を開催し、自給肥増産その他について協議する

諸根 勿來

札附の不良少年
石城郡好間村の中好間で札附の不良少年少女佐藤政治(二)高野ひろ(二)等何れも假名は去る七月頃から同村古河炭礦會庫から鐵棒その他を盗み出し賣却しては買ひひその他に費消してゐること發覺檢査さる

